2021 年度　認定看護管理者教育課程に関するアンケートの結果

≪アンケートの配布及び回収率≫

367 部（医療機関 129 施設、訪問看護ステーション 238 施設）　主に郵送にて配布（看護協会の訪問看護ステーション 6 施設は直接配送）、159 部回収、有効回答数 157 部（回収率 42.8%）

・医療機関 85 施設（医療機関の 65.9%が回答）

・訪問看護ステーション 72 施設（訪問看護ステーションの 30.3%が回答）

・郵便による回収 125 部、QR コードからの入力 34 部、計 159 部から重複回答等を削除した 157 部を集計した。

≪アンケート集計結果≫

問 1 就業場所

・医療機関 85 施設（54.1%）、訪問看護ステーション 72 施設（45.9%）

問 2 ベッド数（医療機関のみの集計）

・100 床～199 床 34 施設（40%）で最も多く、次いで 20 床～99 床 21 施設（24.7%）、300 床以上 20 施設（23.5%）だった。

問 3．看護職員数

・医療機関では、50～99 人以下 36 施設（42.4%）100～199 人以下 17 施設（20%）、300 人以上 12 施設（14.1%）だった。

・訪問看護ステーションでは 9 人以下が 54 施設（75%）だった。

問 4．認定看護管理者教育課程修了者の有無

・認定看護管理者教育課程修了者の在籍している施設数は、ファーストレベル修了者 91 施設（58％）、セカンドレベル修了者 64 施設（40.8%）、サードレベル修了者 22 施設(14.0%)だった。

・就業場所別では、医療機関はファーストレベル修了者 73 施設(85，9%)、セカンドレベル修了者 58 施設(68.2%)、サードレベル修了者 22 施設(25.9%)だった。訪問看護ステーションはファーストレベル修了者 18 施設(25%)、セカンドレベル修了者 6 施設(8.3%)、サードレベル修了者 0 であった。

・サードレベル修了者は、回答のあった医療機関の 4 分の 1 の施設に在籍していた。

問 4．認定看護管理者教育課程修了者の分布

・認定看護管理者教育課程修了者の在籍は、ファーストレベル 743 人、セカンドレベル 330 人、サードレベル 45 人であった。

・そのうちファーストレベル修了者の就業場所は、医療機関 721 人（97%）、訪問看護ステーション 22 人(3.0%)であった。ファーストレベル修了者が 10 人以上在籍している施設は 22 施設(24.2%)あった。

・セカンドレベル修了者の就業場所は、医療機関 324 人(98.2%)、訪問看護ステーション 6 人(1.8%)でありセカンドレベル修了者が 10 人以上在籍している施設は 12 施設（7.6%）あった。

・サードレベル修了者の就業場所は、全て医療機関だった。

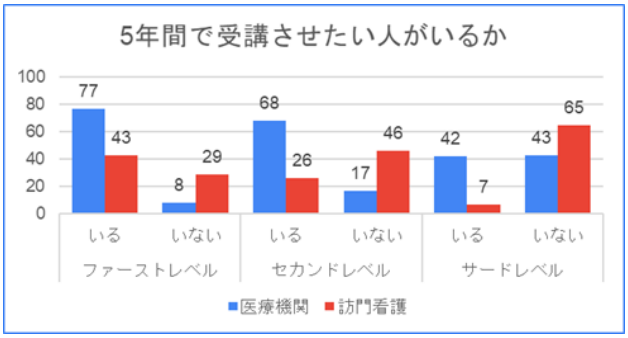
問 5．キャリアラダーとの関連

・認定看護管理者教育課程の修了が組織のキャリアラダーに含まれていると回答した施設は 26 施設（16.7%）であり、キャリアラダーを使用していない施設は 83 施設（53.2%)だった。

問 6．人事考課への反映について

・人事考課に反映されていると回答した施設は、37 施設（23.7%）だった。

問 7．問 11．問 15．　5 年間で受講させたい人材について



・ファーストレベルを受講させたい医療機関は 77 施設（90.6%）、訪問看護ステーションは 43 施設（59.1%）だった。

・セカンドレベルを受講させたい医療機関は 68

（80%）、訪問看護ステーションは 26（36.1%）だった。

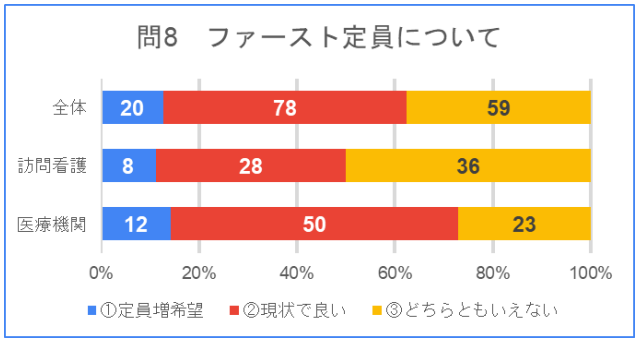
・サードレベルを受講させたい医療機関は 42 施設（49.4%）、訪問看護ステーションは 7 施設（9.7%）だった。

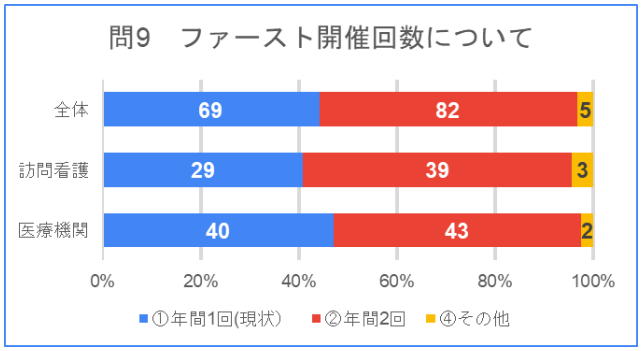
問7．問11，問15 5年間(2022年度～2026年度)で受講させたい人が何人いるか。			N＝157
	ファースト	セカンド	サード
①1人	23	23	18
②2人	24	24	16
③3人	19	13	10
④4人	10	6	0
⑤5人	16	13	2
⑥6人	4	1	0
⑦7人	1	0	0
⑧8人	3	3	0
⑨9人	0	0	0
⑩10人以上	17	6	1
未記入	3	5	3
計(施設)	120	94	49
計(人数)	530	298	98

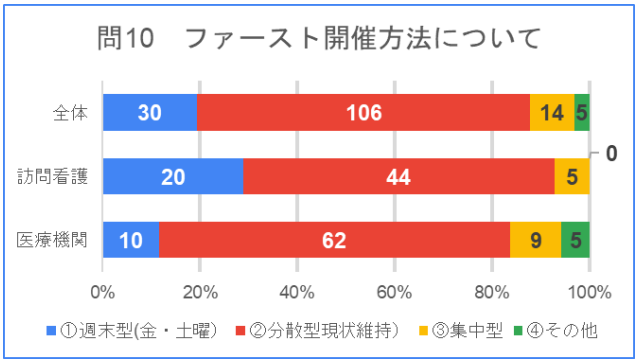
・受講させたい人数の合計は、ファーストレベル 530 人、セカンドレベル 298 人、サードレベル 98 人だった。

・ファーストレベルでは、1 施設 10 人以上受講させたいとの回答が 17 施設あった。

問 8．問 9．問 10　ファーストレベルの運営について



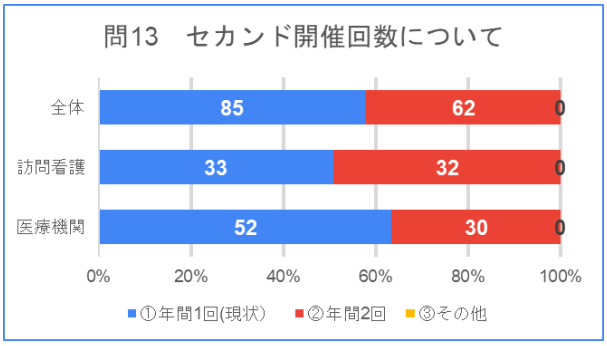


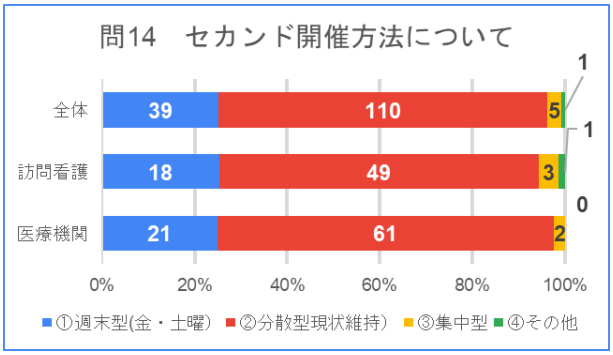


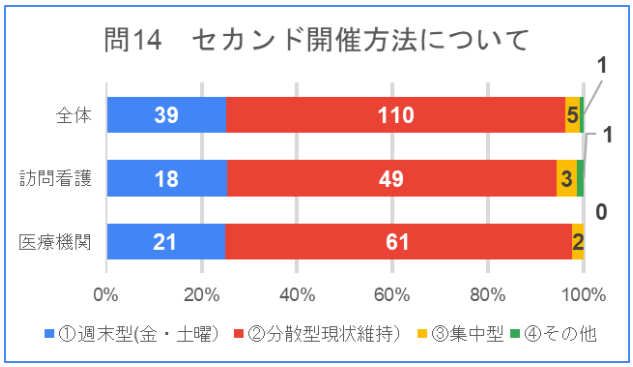
・定員増になった場合の開催回数は、現在の年 1 回開催が 69 施設（44.2%）、年 2 回開催 82 施設（52.6%）であり、年 2 回開催の希望が上回っていた。就業場所別にみると訪問看護ステーションは年 1 回開催が 29 施設、年 2 回開催が 39 施設であり年 2 回開催の希望が多かった。

・開催方法は現状の分散型開催 106 施設(68.4%)が最も多く、次いで週末型（金・土曜）30 施設（19.4%）、集中型 14 施設（9 %）だった。

問 12．問 13．問 14　セカンドレベルの運営について





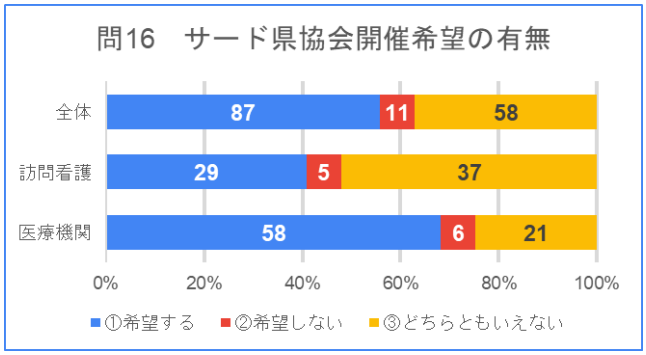


・5 年間の受講希望者全員を受け入れるためには 1 年間に 60 人程度の定員が必要だが、定員増の希望は 23 施設（14.6%）、現状でよいが 85 施設（53.5%）だった。

・開催回数は年 1 回が 85 施設（57.8%）、年 2 回開催は 62 施設（42.2%）だった。

・開催方法は現状の分散型開催 110 施設（71%）、週末型（金・土曜）39 施設（25.2%）、集中型 5 施設（3.2%）だった。

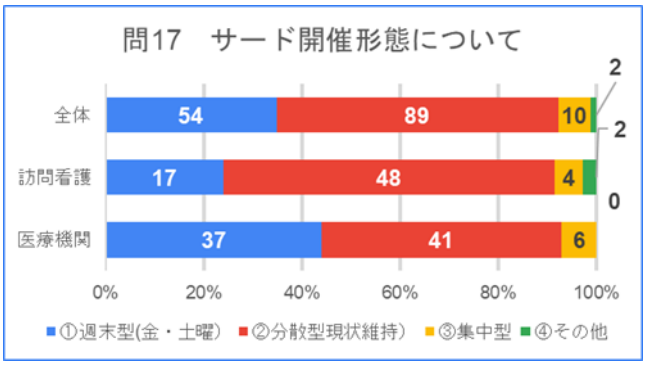
問 16．問 17．サードレベルの運営について



・群馬県看護協会におけるサードレベル開催希望は 87 施設（55.8%）だった。就業場所別では医療機関 58 施設（68.2%）が希望していた。群馬県看護協会での開催希望の理由は、「県内開催により受講しやすい」といった理由が最も多く 37 件、「経済的理由」7 件、「感染を気にしなくて済む」「看護の質向上」等の意見があった。

・群馬県看護協会の開催を希望しない理由としては、「中央の講師を呼ぶのが難しい」「他に研修する場所がある」「受講者が少なく開催は非効率」「他県からの受講者が少ない」といった意見があった。

・どちらでもないと回答した理由は、「対象者がいないから」が 6 件、「県外の人と広く交流する機会がない」「教育内容が全国同じにできるか疑問」「準備が大変」「受講者確保数による」「「コロナ禍で県外は避けたい」「必要性が明らかでない」等である。



・開催形態は、分散型 89 施設（57.4%）、週末型（金・土曜）54 施設（34.8%）だった。就業場所別で比較すると、医療機関では分散型 41 施設、週末型（金・土曜）37 施設であり、分散型希望は訪問看護ステーションに多かった。

問 18．その他、認定看護管理者教育課程全体についての意見（自由記載）

・群馬県内でサードレベル開催を希望する意見が 7 件、管理研修全般を評価する意見 7 件あった。「通信等を使った自由に学べるシステムがあるとよい」「Web にて夜間や休日を使って学習」「Zoom などでやっていただきたい」「オンライン研修を導入」といった意見が 4 件、「平日に研修を受けることが難しい」「小さな事業所で人数の関係で研修に出せない」「研修に出すと現場が回らない」といった小規模ならではの問題があった。「受講料がやや高め」「訪問看護ステーションに於いての重要性が感じられない」「周知できる環境をもっと整備してほしい」等があった。

まとめ

アンケートの結果より、各レベルとも今後 5 年間での受講ニーズはかなり高いことが分かった。今後の応募者数の動向を見ながら募集人員の増加等検討していくことや、コロナ禍での対応や対面授業に参加が難しい施設でも受講できるようオンラインを用いた研修システムを検討していく。サードレベルの開催については、県内開催の可能性について模索して行きたい。